

【身体抑制の適正化と患者様の尊厳を守るための提言】

主体会病院
院長 高瀬幸次郎
看護部長 餘語美和子

私たちは、医療・ケアの本質が患者様の自由と尊厳を支えることにありと確信し、身体抑制の原則廃止と適正化を推進します。その実践のため、以下の3点を徹底いたします。

- 安全確保を目的とした制限の超克
「事故防止」を理由に安易に制限に頼るのではなく、行動の背景にある思いを理解し、抑制を必要としないケアの在り方を組織全体で追求します。
- 多職種による最善の追求と透明性
生命を守るための緊急やむを得ない場合でも個人の判断に任せず、多職種で検討し、ご家族への丁寧な説明と早期解除に向けた評価を日々行います。
- 尊厳を守ることを使命とする組織力の向上
すべての患者様がその人らしく過ごせる環境を整えることを使命とし、常に細やかな工夫を重ね、患者様の権利を尊重し続ける組織を目指します。

私たちは、患者様の尊厳を最優先する医療を実践し、信頼される病院であり続けることをここに宣言します。

令和8年5月25日作成

院内全体の身体抑制実施状況の直近1年間報告

	2025年4月	2025年5月	2025年6月	2025年7月	2025年8月
身体抑制実施数（日）	772	726	704	837	770
入院患者延べ数（人）	6003	6057	5956	6318	6080
身体抑制実施率（％）	12.86	11.98	11.8	13.2	12.6

	2025年9月	2025年10月	2025年11月	2025年12月	2026年1月
身体抑制実施数（日）	375	287	197	138	139
入院患者延べ数（人）	5778	5955	5690	6081	6322
身体抑制実施率（％）	6.49	4.81	3.46	2.26	2.19

	2026年2月	2026年3月	2026年4月
身体抑制実施数（日）	158	180	164
入院患者延べ数（人）	5519	6275	5979
身体抑制実施率（％）	2.86	2.86	2.74